

平成24年度経営方針

平成24年3月
九州電力株式会社

はじめに

- 当社は、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランド・メッセージとする「九州電力の思い」のもと、責任あるエネルギー事業者として、安定した電力・エネルギーをお客さまにしっかりお届けすることを使命としています。
- 当社は、その使命を果し続けていくために、平成21年3月、経営環境の大きな変化と、設備の形成に長期間を要する電気事業の特性を踏まえ、長期的な経営の方向性を示す「長期経営ビジョン」を策定するとともに、あわせて、このビジョンの実現に向けて、当面の施策の方向性を示す「中期経営方針」（平成21～23年度）を策定し、事業活動を進めてまいりました。
- そうした中、先の東日本大震災はわが国の経済・社会に甚大な被害を及ぼし、さらに、東京電力福島第一原子力発電所において深刻な事故が発生したことで、原子力やエネルギー利用のあり方などエネルギー政策全般に関して、国レベルで議論が進められているところであり、電気事業を巡る中長期的な経営環境の不透明性が非常に高まっています。
- 当社においては、原子力発電所の運転再開が不透明な状況の中、厳しい需給状況が続き、収支を巡る環境も一層厳しさを増しており、また、「経済産業省主催の県民説明番組への意見投稿呼びかけ」等により、皆さまからの信頼を大きく損なうこととなりました。
- こうした極めて厳しい状況に的確に対応していくためには、喫緊の重要課題を明確にし、重点をおいた取組みを全社一丸となって進めていくことが必要であることから、今回、「平成24年度経営方針」を策定しました。
- なお、原子力政策の見直しや望ましいエネルギーミックスのあり方、電気料金制度の見直し等といった国のエネルギー政策については、その方向性を見極めつつ、適切に対応してまいります。

1 重点課題と対応方針

(1) 信頼回復に向けた取組み

事業運営の基盤であるお客さまや地域の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまからの信頼の回復を最優先課題として、全社一丸となり取り組んでまいります。

(2) 安定供給の確保

厳しい需給状況を踏まえ、需給両面からあらゆる対策に取り組み、電力の安定供給の確保に努めてまいります。

(3) 収支改善に向けた「緊急経営対策」の推進

非常に厳しい経営環境を踏まえ、グループ一体となって、経営全般に亘る徹底した効率化・コスト削減に取り組んでまいります。

2 具体的取組み

(1) 信頼回復に向けた取組み

お客さま、地域の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまからの信頼は、当社の事業運営の基盤であり、「経済産業省主催の県民説明番組への意見投稿呼びかけ」等により損なわれた信頼の回復に向け、全社一丸となって取り組みます。

- 企業体質や組織風土の改革に向けた事業の透明性確保・事業運営の再構築などの再発防止策を徹底します。
- ステークホルダーの皆さまのご意見やご要望を真摯に受け止め、当社の事業運営に反映します。

① 企業活動の透明性確保と、自治体との健全な関係の構築

- ・自治体との健全な関係を構築するための取組みなどを織り込んだ「コンプライアンス行動指針」改正内容の周知徹底
- ・コンプライアンス意識向上や公正な事業活動の徹底に向けた研修等の実施

コンプライアンス推進体制および危機管理体制の再構築等によるコンプライアンス経営の徹底

- ・コンプライアンス所管部門の一元化
- ・コンプライアンス委員会の機能強化
- ・全支社へのコンプライアンス担当職員の設置
- ・社外専門家の活用などによる危機管理体制の再構築
- ・グループ会社との対話活動の充実等による、グループ一体となったコンプライアンス経営の推進

経営幹部層のマネジメント能力強化と、組織風土改善に向けた取組み

- ・経営幹部層を対象とした研修や他部門交流等の異動の実施
- ・部門や機関、階層を越えたコミュニケーション強化に向けた対話の場の設置等、組織風土改善に向けた取組みの展開
- ・多様な価値観・人材を活かした業務運営の推進

発電業務に関する本部のあり方見直しなど、原子力に係る業務運営の透明性向上

- ・原子力発電本部と火力発電本部の統合による「発電本部」の設置
- ・原子力部門と他部門との人事交流の活発化
- ・各支社への原子力広報・防災連絡員の配置

ステークホルダーの皆さまのご意見・ご要望の当社事業運営への適切な反映

- ・幅広いお客さまとの新たな対話活動の展開
- ・CSR報告書等を活用したステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションの促進などCSRマネジメントサイクルの着実な推進

電気事業を巡る正確な情報の発信や、当社の取組みに関する迅速・的確な開示等、積極的な情報公開

- ・お客さまや地域の皆さまの視点に立った迅速・的確かつ積極的な情報の発信
- ・ホームページ等の充実による情報発信の推進

(2) 安定供給の確保

原子力発電所の運転再開に関する見通しが不透明で、厳しい需給状況が続く中、需給両面からあらゆる対策に取り組み、安定供給の確保に努めます。

- 供給面では、需要動向等を踏まえ、機動的な追加供給対策を実施することで安定供給の確保を図ります。また、原子力の更なる信頼性向上と安心・安全の確保を図るとともに、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を目指します。
- 需要面では、需給状況等に関する情報提供の充実や、お客さまの節電・省エネにつながる取組みを推進します。

① 原子力発電所の更なる信頼性向上と安心・安全の確保

- ・更なる安全強化策の確実な実施
- ・当社取組み等に関する自治体・議会へのタイムリーな情報提供や、地域の皆さまへの訪問活動等、理解活動の強化
- ・具体的な被害を想定した緊急安全対策訓練や外部電源復旧訓練の実施
- ・高経年化対策等の確実な実施

② 需要動向等を踏まえた機動的な追加供給対策の実施

- ・今夏の供給力確保に向けた追加対策の実施（苅田発電所新2号機の運転再開、豊前発電所へのディーゼル発電機の設置 他）
- ・燃料の機動的調達及び調達可能量拡大に向けた取組み（LNGスポット調達の拡大、石油の海外からの直接受入・内航船の追加確保・使用銘柄多様化 等）
- ・需給状況を踏まえた他電力からの電力融通の受電、発電設備を有する事業者（IPP・共同火力、PPS・自家発電等）からの受電増

再生可能エネルギーの積極的な開発・導入

- ・風力及び太陽光の更なる導入拡大に向けた取組み（従来計画から50万kW拡大し、H32年度末までに合計300万kW）
- ・太陽光など出力が不安定な再生可能エネルギーの大量導入に備えたスマートグリッドに関する技術開発の推進
- ・グループ大でのメガソーラー・風力開発等の推進
- ・規制緩和の動向等を踏まえた地熱の利用拡大に向けた有望地点調査・開発の実施
- ・苓北発電所における木質バイオマス混焼事業の推進

④ 設備の安全・安定運転の徹底

- ・設備保全不備やヒューマンエラーによる事故防止の徹底
- ・ビジネスパートナーと一体となった安全第一主義の徹底

⑤ 需給状況等に関する情報提供の充実

- ・「でんき予報」等を活用した需給関連情報の充実・積極的な提供
- ・需給状況に応じた円滑なお客さま対応の実施

⑥ お客さまの節電・省エネにつながる取組みの推進

- ・電気設備・家電機器の上手な使い方や、ヒートポンプなど高効率機器の推奨等の節電PR・省エネ提案
- ・エネルギーの見える化に資するスマートメータの導入促進や技術開発の推進
- ・計画調整契約の拡大等、ピーク需要の抑制につながる料金メニューの検討

(3) 収支改善に向けた「緊急経営対策」の推進

厳しさを増す経営環境を踏まえ、費用・投資について、安全・法令遵守・安定供給を確保しつつ、徹底した効率化に加え、当面の繰延べなど短期的対策を含むコスト削減にグループ一体となって取り組みます。

- 電力の安定供給を確保した上で、工事の実施時期、範囲、工法等を見直し、設備投資及び修繕費を削減するとともに、経済的な調達により燃料コストの低減に取り組みます。
- 広報活動や研究開発等の内容・規模を見直すなど、業務全般にわたる効率化を進め、諸経費の削減に取り組むとともに、業務運営の効率化や役員報酬・福利厚生費などの削減に取り組みます。

① 安全・法令遵守・安定供給を確保した上での設備投資・修繕費等の削減

- ・設備実態（腐食、劣化状況）や設備トラブル発生時の影響度等を踏まえた設備改修時期の見直し
- ・点検実績及び事故・障害データの分析・評価に基づく点検項目の縮小・点検周期の延伸、事後補修化
- ・戦略購買手法の活用や発注方式の多様化等の推進による資機材・工事等の調達コストの低減
- ・海外事業及び電気事業以外の国内事業投資の繰延べ

② 経済的な調達による燃料コストの低減

- ・自社船の最大限の活用
- ・受入品位の緩和による低価格燃料の導入拡大
- ・スポット調達の活用・価格決定方式の多様化

③ 業務全般にわたる効率化による諸経費の削減

- ・緊急度を踏まえた実施時期の繰延べや対象範囲の見直し等による委託費の削減
- ・研究の規模縮小・延伸化による研究費の削減
- ・営業活動の効率化による電化営業関係費用の削減
- ・TV・ラジオ広告見直し等による広告宣伝費の削減
- ・地域との共生に配慮しつつ寄附金等の費用の削減

④ 業務運営の効率化及び役員報酬・福利厚生費などの削減

- ・業務の改善・改革などによる業務運営の効率化
- ・役員報酬の削減
- ・福利厚生費など人的経費削減に向けた諸施策の検討